平成２９年度第１四半期指摘事項一覧（事業者の処置結果追記分）

原子力事業所又は原子力施設名：関西電力株式会社　高浜発電所　　作成責任者　統括原子力運転検査官　　山西　忠敏

番号	指摘日	事務所担当者	事業者対応者	指摘（要旨）	事業者回答日	事業者の処置状況
2	H29.6.9	山西	安全・防災室品質保証室	【平成２９年度第１回保安検査】 平成２９年度高浜発電所の品質目標及び安全文化重点施策活動計画では、２号機クレーンジブ倒壊を受けて、「原子力安全のリスクを低減するための仕組みの強化」及び「現状への問いかけや組織全体のリスク感知能力向上」という目標を設定しているが、その取組みの結果、所員のリスク感知能力や意識が向上しているかをリスク検討会での抽出件数または実際の人的過誤トラブル発生件数等の指標を決めて、各課（室）・グループ毎に、その達成度を定量的に評価して頂きたい。その評価の結果、効果が上がっていない課（室）・グループについては、次年度取組み方法を見直すなど、継続的な改善に取り組んで頂きたい。	H29.6.23	「原子力安全のリスクを低減するための仕組みの強化」及び「現状への問いかけや組織全体のリスク感知能力向上」といった取組みを進める中で、所員のリスク感知能力や意識が向上したかについて評価し、その結果を次年度の改善に繋げられるように検討する。具体的には、各課（室）の各指標が客観的に評価できるものとなっているか及び実施中の原子力安全のリスク低減、感知能力向上に関連する各種取組み実績が活用できないか等を整理し、必要な仕組みを上期中に検討する。
					H29.9.27	発電所品質目標「原子力安全のリスク低減取組み強化」の目標値を「リスク低減への取組み実施率１００％」として各課（室）に展開しているが、本取組みの達成度合いを評価する上で関連するデータを用いて、より定量的に把握できる補助的な指標を設定し、各課（室）の取組みを客観的に評価し、改善につなげていく試運用の実施方針を策定した。（平成２９年８月） 具体的な補助指標については以下のとおり。 （1）リスク低減への取組み状況の把握（視点①） a.リスクレビュー会議で策定された対策の実績フォロー b.特管パトロールの実施回数 c.所管する工事でのパフォーマンス観察・評価の実施回数・指摘件数 （2）リスク低減への取組みの効果の把握（視点②） a.工事に係るヒューマンエラーによる不適合（労災含む）件数 b.第三者による現場パトロールでのパフォーマンス観察・評価の指摘件数
					H29.12.11	上記の設定した補助指標に対しては四半期毎にデータを集計することとしているため、今後、１２月末時点でのデータを元に分析を進め、各課（室）の取組みを客観的に評価し、改善につなげていく予定。

平成２９年度第１四半期指摘事項一覧（事業者の処置結果追記分）

原子力事業所又は原子力施設名：関西電力株式会社　高浜発電所　　作成責任者　統括原子力運転検査官　　山西　忠敏

番号	指摘日	事務所 担当者	事業者 対応者	指摘（要旨）	事業者 回答日	事業者の処置状況
					H30.3.22	リスク低減活動の取り組みを客観的に評価するために、平成２９年９月から１２月末時点までの各補助指標を集計・評価した。集計結果から、リスクレビュー会議はＤＢ管理によりリスク・対策の抽出、確認結果等のフォローが実施され、適切に運営されていることを確認した。また、パフォーマンス観察等について概ね積極的に実施している傾向にあることを確認した。しかし、評価結果から更なるリスク低減活動につなげるため、観察時に指摘した良好事例や改善事例（指摘したその場で改善されたものも含む）についても、積極的に記録することが必要などの気付き事項については、工事所管箇所に既に周知しており、引き続きその活動状況について継続的に確認していく。

（※）番号1については、前四半期までに事業者の処置完了を確認済み。番号２は、事業者の処置完了を確認済み。